

しらさぎ

第219号

令和6年1月15日 発行

一般社団法人 鶴岡地区医師会

鶴岡市立湯田川温泉
リハビリテーション病院

広報委員会

山形県鶴岡市湯田川字中田35-10

TEL 0235-38-5151

FAX 0235-38-5152

<http://tsuruoka-med.jp/yutagawa/>

E-mail yutagawa@orion.ocn.ne.jp

鶴岡市立湯田川温泉 リハビリテーション病院の 基本理念

私たちは、患者・利用者の皆様の尊厳と自己決定権を尊重し、
心の通った医療、介護とリハビリテーションを提供します。



デイケアを利用されている水野歳子さんの作品です。



当院は、(公財)日本医療機能評価機構の認定を受けています。



令和5年度のご報告と、 令和6年度に向けての当院の方針

鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

院長 武田 憲夫

令和6年、明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

旧年中は、当院運営に関して、患者様、ご家族、職員の皆さまより色々ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。新年を迎えるに当たり、当院の状況をご報告させていただきます。

最初に、元旦早々、1月1日夕方 石川県能登地方で起きたマグニチュード7.6の大きな地震について、お話しさせていただきます。1月8日現在で、160名以上の犠牲者と300名以上の行方不明者が出ているとの報道です。帰省されていたご家族が亡くなるなど、痛ましく、切ない報告が聞かれます。当初、大津波警報も出て、庄内地区の沿岸にお住まいの方々には、夜間、避難などで、不安と寒さ、恐怖に襲われた方もいらしたと思います。幸い県内では、大きな被害がなかったようですが、能登地方中心の被災された方々、犠牲者の方々に、心からお見舞い、お悔やみを申し上げます。地震は、日本列島に生活する我々日本人の宿命と言うしかないのでしょうが、災害に強い国づくり、国民の普段からの心構え、覚悟作りの重要性を改めて感じます。また、その後の飛行機事故なども重なり、辛いお正月でしたが、航空火災事故への迅速かつ臨機応変な対応などを聞きますと、普段からの災害・事故への対策は、マニュアルの整備だけではなく、訓練、心がけ、さらには臨機応変な対応などの重要さが指摘されています。多くの体のご自由な患者さんをお預かりしている医療機関として、改めてそのことを認識致しました。

以下、新年に当たり、令和5年度のご報告と令和6年の当院の主な方針をお話しさせていただきます。

まず、当院にとって深く悲しい出来事は、昨年10月16日の当院内科医長、上野寿樹先生のご逝去です。享年64歳と、医師としては今後益々のご活躍が期待される年代でした。ご病気によるとしても、ご家族様はもとより、病院としても、残念で、また無念でなりません。先生がいられなくなったことによる病院の影響は大きく、様々な部分で未だ整理が付いておりませんが、鶴岡地区医師会のご協力も頂きながら、職員一同協力して、当院及び当地域の医療に支障の無いよう対処しております。

少し元気の出る話題を2つ挙げさせていただきます。

1つは、全国の回復期リハビリテーション病院(病棟)(約870病院)が加入している「回復期リハビリテーション病棟協会」が発行している機関紙の2023年10月号に、「良質な回復期リハビリテーション医療を支えるプロセス充実への取り組み」と言う特集記事が組まれ、この中で、当院の「転倒転落防止対策」が選ばれ、掲載されました。この特集記事作成に当たり、編集委員会の趣旨説明には、「会員病院での秀でたプロセス充実への取り組みを紹介、アウトカム評価基盤強化の一助としたい」と記載されています。直近5年の間に「公益財団法人 日本病院機能評価機構」が実施している「病院機能評価(カテゴリー：リハビリテーション病院)」を受審した認定病院(約400病院)の中で、各評価項目(現在は93項目)の中で最も優れている「S評価」を受けた病院の中でも、さらに優れていると判定された27病院が選ばれ、掲載されました。当院が選ばれた評価項目の「転倒・転落」は、当院のような高齢の方、認知症など高次脳機能に障害のある方が多く入院している病院における医療事故の中でも多くを占める原因で、その防止対策は、回復期リハビリテーション病院における医療安全の大きなポイントになっています。ちなみに、当院の転倒転落率(転倒数/入院患者延数)は、2022年は2.1%で、全国平均(3.7%)の約1/2でした。これからも、より安全な医療を目指し、職員皆で緊張感を持って医療安全向上に取り組む所存です。

もう一つの話は、東根市にあります、北村山公立病院(360床)から、國本健太院長始め6名の方が、12月6日当院に視察に来られたことです。この視察は、当院が以前から実施している、脳卒中などの患者さんに対し、道路交通法上で決められた「自動車運転評価」の一環として行っている、「自動車運転シミュレーター」の活用方法と、「自動車運転評価」のノウハウを教えてほしいとのことでの来院でした。同じ脳神経外科医同士で交友のあった國本院長から私へ訪問依頼があり、当院リハビリテーション課(富村香里課長)の協力のもと、対応いたしました。皆様熱心に質問され、非常に熱のこもった会合となり、私どもも改めて認識したこともあり、非常に有意義な会となりました(写真)。



北村山公立病院の6名のスタッフ来院。当院スタッフとともに。
前列右から3番目：國本健太院長

以後、本年の当院の主な予定をご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症に対する対応は、今しばらく緊張感を持って、従来の方針を維持して行きます。ご面会方法として、直接お会いできる対面面会制度は導入していますが、ご高齢者、認知症患者さんが多い当院では、予約制、病棟外での面会といった一定の制限は今後も設けさせていただきます。県内病院の中に、最近でも60名もの多数の新型コロナウイルス院内感染者が出た病院もあり、ご理解をお願い申し上げます。

この4月から導入される、「医師の働き方改革」も、当院のような、医師不足に悩む日本のほとんどの地方の病院が直面する大きな困難事例です。本来、都会に偏在する医師の是正なくしては地方病院では実施困難な内容で、地方で実施するためには、地域の医師の協力なしには運用できません。幸い、当院では、医師会の先生方、荘内病院の医師などのご協力を頂き、今のところは対応できております。

また、来年度予算では、当院で初めて、リハビリテーションロボットの導入を要求しています。リハビリ分野におけるロボット技術の応用は、リハビリテーション医学会でも期待しており、これから大きな役割を占めると考えられます。当院では初期段階での導入ですが、鶴岡市のご賢察をお願いしているところです。

以上、新年を迎え、ご挨拶と、ご報告をさせていただきました。

デイケア **クリスマス会**

12月19日から25日に『湯田川デイケアクリスマス会』を盛大に催しました。

創作活動の革細工では『世界でひとつのキーホルダー』を制作。「俺、できね～」と言いながら木槌でトントンと刻印を打刻し、皆さん上手に作ることができました。

大抽選会では、抽選箱から出た名前が発表されると歓声が起こりました。豪華景品を手にした皆様おめでとうございます！

当デイケアでは、季節に合わせた行事を行っております。次回行事もお楽しみに～！！







クリスマス献立

栄養科では、入院患者さん・デイケア利用者さんに12月19日～25日の昼食にクリスマスメニューを提供しました。手作りのサンタカードを添えて、ケーキと共にクリスマス気分を味わっていただきました。

**エビピラフ・ローストチキン・
コールスローサラダ・ケーキ**

あ
と
が
き

明けましておめでとうございます。昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、様々な制限が緩和されました。少しずつ日常が戻ってきたように思いますが、皆さんはいかがでしたでしょうか？今年も広報「しらさぎ」をよろしく願いいたします。
 (H.A)